白石市立小中学校のあり方に関する基本方針

子どもたちの豊かな学びと、新しい時代の学校づくりに向けて



白石市・白石市教育委員会

全ての子どもたちの可能性を最大限に伸ばす環境を

「高い志をもち、時代の変化に柔軟に対応して、幸福や生きがいを感じながら、
持続可能な社会の創り手として、これからの社会を生き抜く人（市民）を育てる」



多様性の時代に対応した、一人一人の
良さや可能性を育てる教育

誰一人取り残されない
教育の実現

個別最適な学びと
協働的な学びの一体的充実

安全で安心な環境のもと、
多様な他者と認め合いながら、
自らの可能性を伸ばす学びの保障

急激な児童生徒の減少（将来推計）



10年後、現在の学校規模を維持することは極めて困難な予測となっています。

クラス替えができない環境がもたらす、学びへの影響

協働的な学び



- クラス替えができ、多様な価値観に触れ合う機会が豊富
- 人数が揃い、活気ある団体競技が可能



現在の課題



複式学級の増加

令和15年度には小学校10校中8校が複式学級となり、そのうち7校が完全複式になる見込み。



クラス替えができず人間関係が固定化

多様な意見に触れ、切磋琢磨する機会の減少。



部活動の制限

部員を確保できず合同チーム化。
希望する部活動が学校にない事態の発生。

人数が少なすぎる現状は、こどもたちが切磋琢磨し、
多様な考えに触れる大切な機会を損なってしまう状況に直面します。

対応が必要な時期を迎える施設と、子どもたちを支える教職員の不足

施設の老朽化

市内9校が築50年以上を経過



過去4年間の平均維持管理費

年間１億円超

（小学校約4,800万円＋中学校約6,700万円）



教職員配置の課題



学級数が減少すると、「養護教諭（保健室の先生）」や「事務職員」が配置できなくなる可能性があります

安全安心な学校生活が送れる施設の確保と心身を支える教職員の確保が喫緊の課題

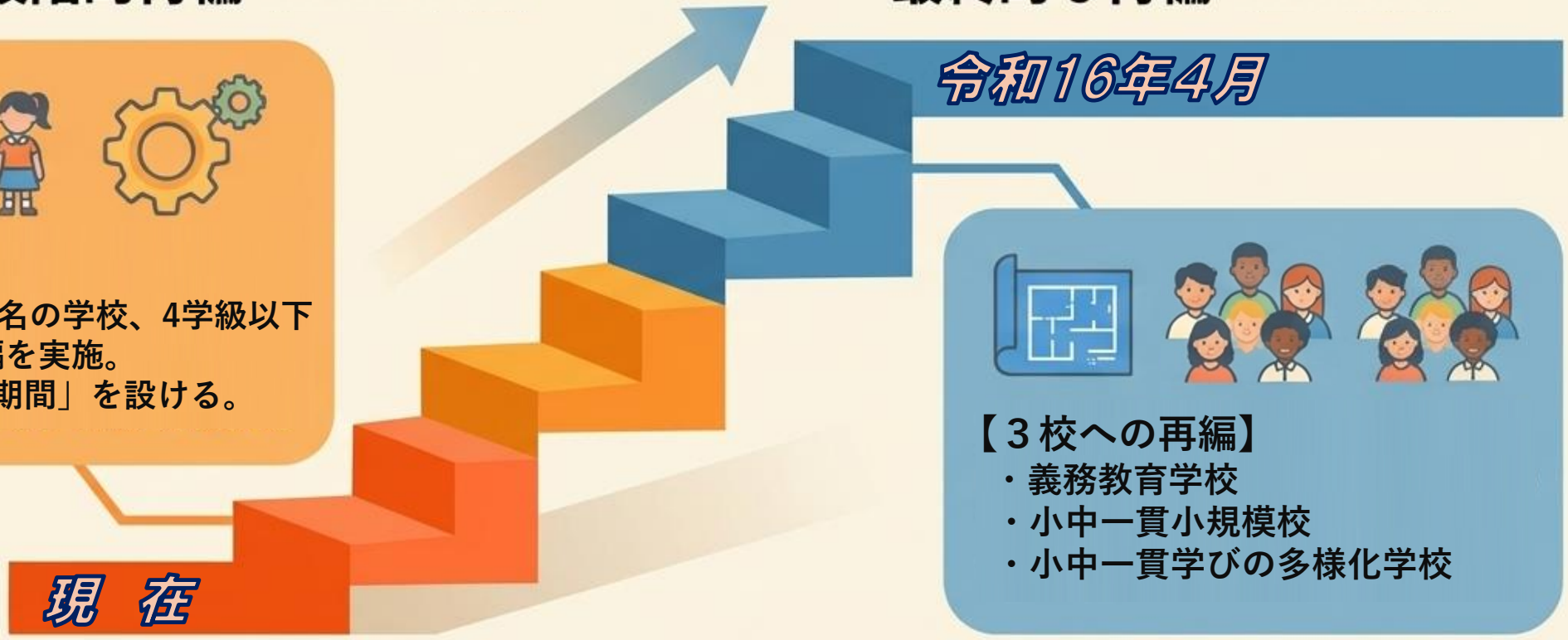
待ったなしの現状へ「今すぐ」対応

今すぐ必要な段階的再編



【段階的な再編方針】
- 完全複式、1学年1～2名の学校、4学級以下の学校は速やかに再編を実施。
- 2年程度の「再編準備期間」を設ける。

最終的な再編



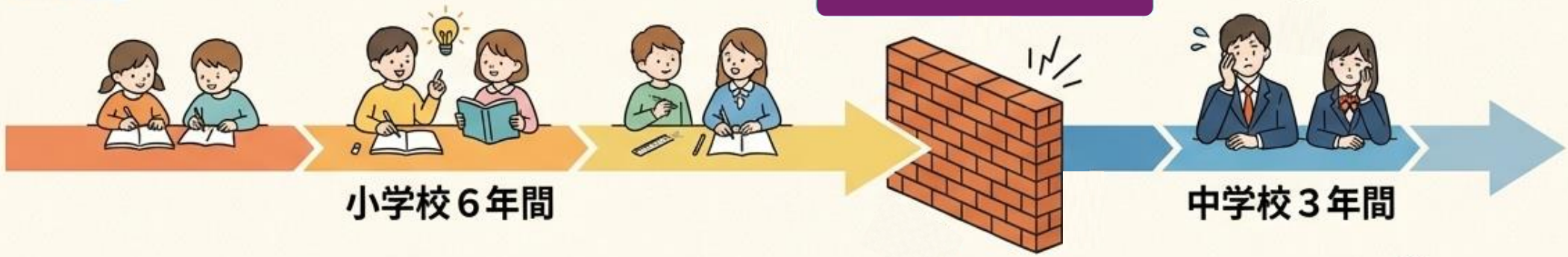
【３校への再編】
- 義務教育学校
- 小中一貫小規模校
- 小中一貫学びの多様化学校

教育課題を先送りしない「段階的な再編」ステップ

「小中一貫教育」による連続性のある９年間

6-3制

「中１ギャップ」



小学校６年間　　中学校３年間

9年間の一貫教育



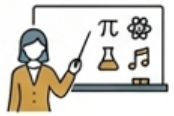
学年の区切りを工夫した編成

1　2　3　4　5　6　7　8　9



【中一ギャップの解消】

小中の段差がなくなり、進学時の環境の変化による学習・生活面でのつまずきを防ぐ。



【専門的な指導】

小学校段階から、中学校の専門教員による専門性の高い教育指導が可能。



【きめ細やかな見守り】

小・中の教員が情報を共有し、９年間という長期的な視点で子どもの成長と課題をサポート。

白石市ならではの特色ある学校

学校像① 活気あふれる中規模校「義務教育学校」



場所

現在の白石第一小学校敷地周辺に新設予定

学校の特徴

- 1学年2学級以上を確保し、「クラス替え」が可能に。
- 多様な友達と切磋琢磨できる環境。
- 1年生から9年生まで9年間を見通したカリキュラムの工夫。
- (仮称)地球共創大学院大学との連携を視野に入れた教育の充実。

多様な仲間と関わり合い、共に成長し合える活気あふれる新しい学校です。

白石市ならではの特色ある学校

学校像② 少人数でじっくり学ぶ「小中一貫小規模校」



場所

今後の出生数・児童生徒数の動向を踏まえ検討

学校の特徴

・1学年10人程度とし、児童生徒同士、児童 生徒と教員が互いの個性を理解した関係づくり。

・(仮称)地球共創大学院大学との連携を視野に入れた教育の充実。

・学習活動及び学校行事、多様な役割の経験や活躍の場面を設定。

大きな集団が苦手な子どもや、少人数でじっくりと深く学びたい子どものための、あたたかな学校です。

白石市ならではの特色ある学校

学校像③ 誰一人取り残されない「小中一貫学びの多様化学校」



場所

現在の白石南小・中学校

学校の特徴

・現在の「白石南小・中学校（きぼう学園）」の実績を継承した教育活動。

・不登校経験のある子どもたちが「自分のペース」で安心して学べる学校。

・児童生徒の実態等を踏まえたカリキュラムにより、基礎学力の向上と人と関わる力を育成。

自己選択とそれぞれの歩幅を尊重し、社会への一歩を優しく後押しする学校です。

白石市ならではの特色あるカリキュラム

「地元学」の実施



各学校にて地域で受け継がれる伝統や文化などを学んだり体験したりする活動も展開できるようにする。

保護者・地域・学校とともに創り上げるプロセス



「再編準備委員会」と「専門部会」の設置

保護者や地域住民、教職員の代表の皆様と話し合って進めます。



話し合う具体的なテーマ（例）



- 行事はどうする?
- 制服や運動着はどうする?



- 通学方法は?



- PTA活動の統合はどう進める?

新しい学校づくりは、皆様との「対話と合意形成」を大切にしながら、丁寧に進めていきます。

令和16年度の新たな３校開校へ向けたロードマップ

令和7年度・8年度



【基本方針策定】

・R7：基本方針（案）作成
・R8：基本方針 策定

令和8年度～15年度



【段階的再編・準備期間】

・段階的な再編の実施
・義務教育学校の整備
・3校のカリキュラム検討

令和16年度



【新体制のスタート】

・多様な学びを提供する3つの新しい学校の開校

義務教育学校
小中一貫小規模校
小中一貫学びの多様化学校

令和16年度の開校を見据え、段階的かつ丁寧なプロセスで再編を進めます

子どもたちにとってより良い教育環境の構築に向けて

急激な少子化という避けられない現実に対し、私たちは「子どもたちの教育環境を守る」という強い決意のもと、この基本方針を策定しました。

単なる学校の再編に留まらず、白石市の子どもたち一人一人の可能性を最大限に伸ばすための、「新しい学校づくり」のはじまりです。

子どもたちの輝く未来のために、保護者の皆様、地域の皆様の深いご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

